

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

平成 00年00月00日

計画の名称	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度（5年間）	交付対象	上野原市
計画の目標			

下水道の整備を行い、安全、安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）
----------------

下水道処理人口普及率を43.2%（H22年度当初）～45.2%（H26年度末）に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22年度当初)	中間目標値 (H24年度末)	最終目標値 (H26年度末)	
下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人） / 総人口（人）	43.2%	44.2%	45.2%	

全体事業費	合計 (A + B + C)	224百万円	A	204百万円	B		C	20百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	8.9%
-------	-------------------	--------	---	--------	---	--	---	-------	-------------------------------	------

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
上野原市企画会議	平成27年12月実施
	公表の方法
	上野原市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A1-1-1	下水道	一般	上野原市	直接	-	汚水	新設	上野原第1処理分区（普及促進）	= 200 L=428.3	上野原市						70	
A1-1-2	下水道	一般	上野原市	直接	-	汚水	新設	上野原第3 - 5処理分区（普及促進）	= 200 L=1319.25	上野原市						134	
小計（下水道事業）															204		
合計															204		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
C1-1-1	下水道	一般	上野原市	直接	-	汚水	新設	上野原第1処理分区枝線整備	= 150 L=32	上野原市						2	
C1-1-2	下水道	一般	上野原市	直接	-	汚水	新設	上野原第3 - 5処理分区枝線整備	= 150 L=357.8	上野原市						18	
合計															20		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道処理人口普及率は、43.2%から45.7%となり、約620人が下水道を使用できるようになった。計画期間において13.7haの供用を開始した。			
------------------------------	---	--	--	--

定量的指標の達成状況	指標（下水道 処理人口の普及 率）	最終目標値	45.20%	目標値と実績値 に差が出た要因	人口密集地を優先して整備することにより、目標を達成することができた。 平成26年度末総人口24,946人、処理人口11,412人となっている。
		最終実績値	45.74%		
	指標	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
	指標	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
--------------------------------------	--	--	--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

定量的指標の目標値は達成することができた。今後は、費用対効果を考えつつ、下水道事業に取り組んでいく。  
評価会議は、平成27年12月開催し、内容の報告を行った。今後大きな事業として、上野原駅南口の開発がある。また、同時に、ハツ沢地区の未整備地域の整備を進めていく。